

レ・コード館開館10周年記念事業

酒井塾シンポジウム開催

3月22日、レ・コード館でレ・コード館開館10周年記念事業の最後を飾る酒井塾シンポジウム「文化遺産としてのレ・コードを町の活力の源とするために」が開催されました。

シンポジウムでは、レ・コード館名誉館長である酒井政利さんが「音楽には形がない。レコード盤として形に残り、そしてこのレ・コード館に保存されているレコード盤はどんなに幸せかと思えます。」と挨拶し、レ・コード館の素晴らしさを語ってくれました。



シンポジウムは4部構成で行なわれ、パネリストの皆さんによる長唄やバイオリン演奏、弾き語りや観客を魅了したほか、パネルディスカッションでは、レ・コード館が全国的にも貴重な施設であるという意見やレ・コード館やレコードのこれからの活用方法などについて提言をいただきました。

第22回全道勝ち抜き歌謡選手権日高地区大会

レ・コード館で開催

3月30日、レ・コード館で第22回全道勝ち抜き歌謡選手権日高地区大会が開催され、チャンピオン大会を目指す42名の出場選手が参加しました。

大会には、新冠町からも21名の方が出場し、日頃の練習の成果を披露し、会場からは大きな拍手が送られていました。また、永井みゆきさんの



の歌謡ステージも行なわれ、会場を埋め尽くした観客の皆さんも存分に楽しんで大会となりました。

ろうそくの灯りの下で

ガイアナイトinひだか開催

今年7月に洞爺湖町で開催される北海道洞爺湖サミット。このサミットでは各国の首脳が主に環境問題をテーマに話し合います。

そのサミット開催前に、道民にも広く、環境問題を考えてもらおうと高橋はるみ北海道知事と脚本家の倉本聰さんが提案した「ガイアナイト」。

3月30日、その参加事業として「ガイアナイトinひだか」がレ・コード館で行なわれ、新冠町と新ひだか町の親子15組が参加しました。

ガイアナイトinひだかでは、レ・コード館展望タワーをキャンドルで埋め、日高管内全体を照らすローソクに見立てるといふ趣旨のもと、親子で



キャンドルホルダーを手作りし、電気を消した展望タワーをキャンドルの灯りで照らしました。

また、読み聞かせなども行なわれ、キャンドルの灯りの下、親子で環境問題や地球の未来について語り合いました。

題

あれこれ

石井ちゃんが来た！

高齢者大学・お喜楽おたっしや塾合同講演会

3月6日、レ・コード館で新冠町いきいき大学ぴかぴか学習会・お喜楽おたっしや塾合同講演会「石井ちゃん取材リポートもの見方が変わる話」が開催されました。

講演会には、日頃、テレビ番組のリポーターなどで活躍されている石井雅子さん、番組プロデューサーの山田もと子さんが講師として招かれ、67名のいきいき大学の受講生、おたっしや塾の塾生の皆さんが参加し行なわれました。



講演会には、日頃、テレビ番組のリポーターなどで活躍されている石井雅子さん、番組プロデューサーの山田もと子さんが講師として招かれ、67名のいきいき大学の受講生、おたっしや塾の塾生の皆さんが参加し行なわれました。

講演会には、石井さんが出演しているテレビ番組「石井ちゃんとゆく」で取り上げているユニバーサルデザインをテーマに行なわれ、実際にユニバーサルデザインが使われている生活必需品などを使いながら、分かりやすく講演していただきました。

参加者の皆さんも時折、メモを取りながら熱心に石井さんたちの講演に耳を傾けていました。

ま ち の 話

三味線の音色が元気をくれる

脩一郎&大地恵寿荘慰問

3月28日、レ・コード館でのコンサートのために来町した脩一郎&大地のメンバーが特別養護老人ホーム恵寿荘を訪れ、入所者の皆さんの前で三味線の演奏を行ないました。

演奏では、「じよんがら節」のメドレーなど津軽三味線のレパートリーを披露してくれました。



入所者の皆さんも、見事なバチさばきと力強い演奏に聞き入り、中には演奏に合わせて体でリズムをとる方も。演奏が終わると惜しめない拍手が送られていました。

ふるさとの歴史を学ぶ ふるさと歴史講話

3月9日、レ・コード館でふるさと歴史講話会（新冠町郷土文化研究会主催）が行なわれました。



講話会では、新冠の歴史に大きな足跡を残した古川アシンノカルとイコクの人、古川アシンノカルについて取り上げ、古川アシンノカルの親戚でもある狩野義美さんに説明していただき、ふるさとの歴史を学びました。

節婦保育所修了を祝う会

3月26日、節婦保育所で修了を祝う会が行なわれ、1歳児から3歳児の子どもたちが一年間の成長ぶりを歌や踊りで披露してくれました。



ハツラツとした歌や踊りに父兄からもたくさんの拍手が送られました。特に大活躍だった3歳児のばなな組はこの日、節婦保育所の通所が終了しました。